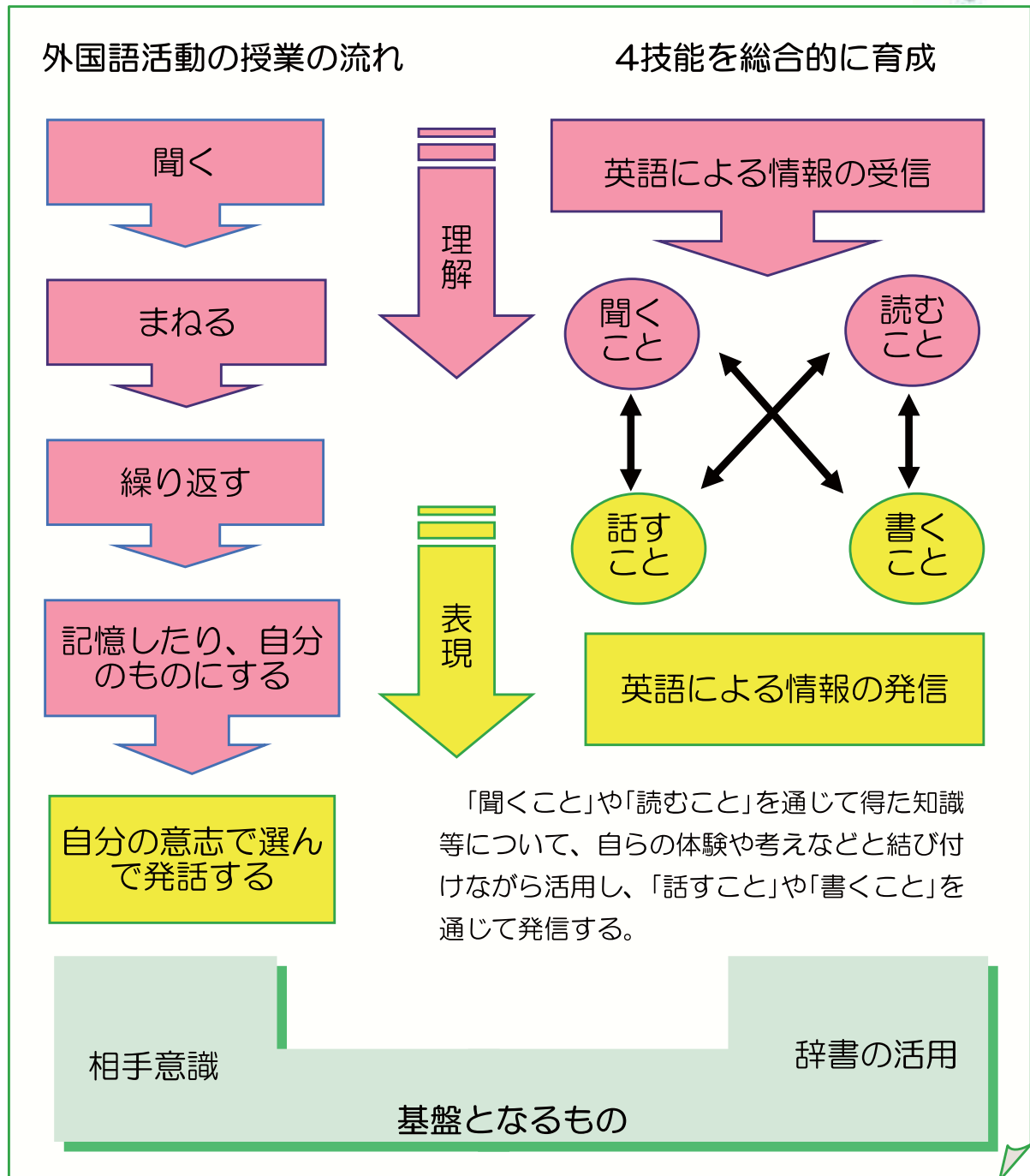


ポイント② 教科への円滑な移行を図ること



「聞くこと」や「話すこと」に関しては、外国語活動でも慣れ親しんだことがあるような身近な言語の使用場面や言葉の働きを用いた言語活動を行わせることで、円滑な導入を図りましょう。

その一方で、「読むこと」や「書くこと」といった文字を使った言語活動については、中学校で本格的に学習を開始することに配慮し、ていねいな指導を行う必要があります。特に発音と綴りの関係についての指導方法の工夫は入門期の課題です。